

高性能化学合成ベースオイル「WBASE」について

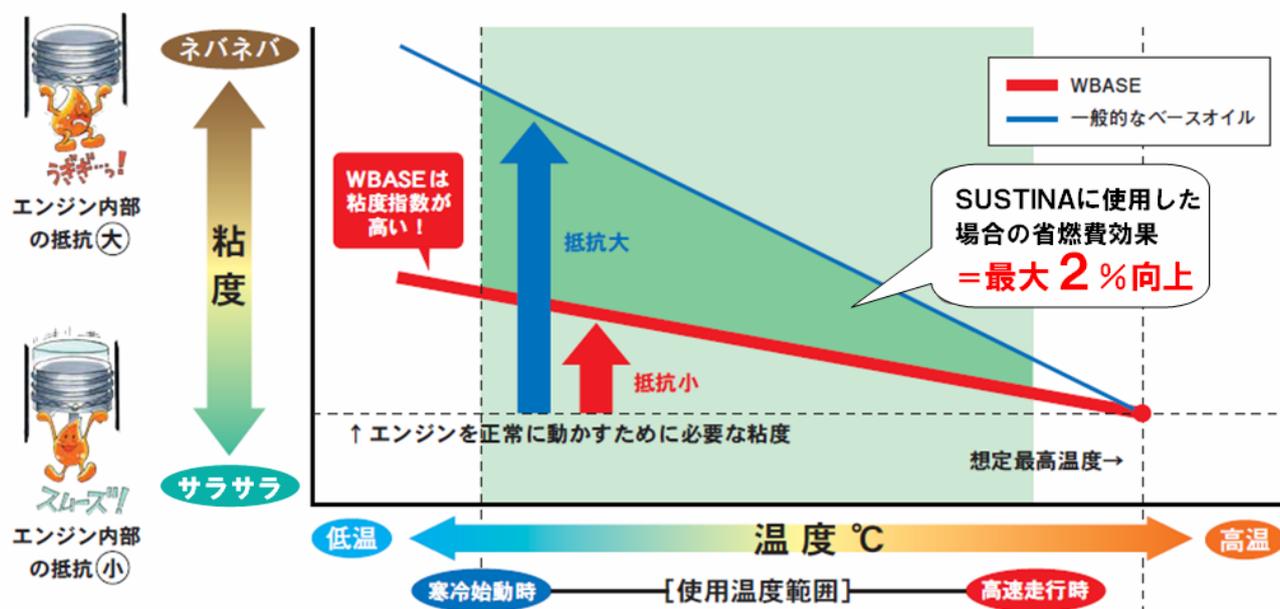
二酸化炭素排出量低減への取り組みが世界的な課題となるなか、自動車に使用されるエンジンオイルや、産業用に使用される工業用潤滑油などに省エネ性の向上が求められており、潤滑油製品の基本的な性能を大きく左右するベースオイル（潤滑油製品の基材）についても、性能向上のニーズが高まっております。

一般的に、潤滑油は高温ではサラサラとなり低温ではネバネバとなりますが、この温度変化に伴う粘度の変化を示す指標を「粘度指数」と呼びます。「粘度指数」が高いほど、温度変化による粘度の変化が少なく、使用される温度域においてエンジン内部の抵抗を低減できることから、燃費性能が向上します。

当社は、ベースオイルの理想構造を追及し研究を重ねた結果、エンジンオイルに最適な分子構造に極限まで近づけた世界最高水準の高粘度指数を有する高性能化学合成ベースオイル「WBASE」の開発に成功し、2008年に当社グループの和歌山石油精製株式会社 海南工場において製造を開始しました。

今般、「WBASE」を使用した製品として、「ENEOSプレミアムモーターオイル SUSTINA」が11月に新発売となりますが、「WBASE」を使用した省エネ・長寿命タイプの潤滑油製品を順次市場に投入してまいります。

【温度変化と粘度変化の関係について】



【和歌山石油精製株式会社 海南工場 について】

所在地 和歌山県海南市藤白758

代表者 代表取締役社長 前原 義彦

株 主 JX日鉱日石エネルギー 99.84%